



新年のごあいさつ



本年は「^た起つ年」。地域の皆様と共に
龍のようにライズして(昇って)いけますよう努めてまいります!

株式会社 シイヤライズ
代表取締役社長 椎谷 亮

あけましておめでとうございます。日頃よりご愛顧を賜っておりますお客様、お取引先の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

弊社は、無事故・無災害にて「シイヤライズ」として初めての正月を迎えることができました。旧年中お世話になりました皆様には厚く御礼を申し上げます。

また、元日に発災いたしました能登半島地震で被災されました皆様には心からのお見舞いを申し上げます。

賀詞を申し上げるのも憚られるほどの惨状に新年早々心を痛めました。震源地の能登は言うまでもありませんが、新潟県内でも液状化現象などの深刻な被害が出ております。シイヤライズは、お客様、社員、社会、全てにおいて幸せと豊かさを高めていくことを常に目指しています。ごく微力ではあるかと存じますが弊社ができることを生かし復興の支援ができればと考えております。

激震で始まった令和6年、干支は

辰。辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表しているとか…まさに! と思ってしまうような「震」があったわけですから、次は龍のように活力旺盛に力強く上昇! といくことを願ってやみません。

弊社では「起つ(たつ)年」として、一層のサービス向上を目指し、皆様の「より良くしたい」を実現するため社員一同決起邁進してまいります。特に本年は、新たにドローン事業

を立上げ新規分野に参入いたしました。昨年から社員の国家資格取得を進めており、今後は新たな分野から皆様に上質なサービスを提供してまいります。順次告知をいたしますので、どうぞご期待ください。

本年も地域の皆様と共に新春の日の出のように力強く輝き、上へ、上へ、龍のようにライズして(昇って)いけますよう努めてまいります。本年も変わらぬご愛顧のほどをよろしく願います。

ドローンを正しく飛ばすのって、結構大変 / 12月 国家資格「無人航空機操縦者技能証明書」取得者誕生!

歳の瀬も押し迫った12月下旬、事務方若手のF君がドローンの国家ライセンスを取得いたしました!

最近よく耳にするドローンは、4つのプロペラを持ち水平飛行やホバリング(停空飛行)できる機体を差しますが、それはあくまで人を乗せず、遠隔または自動制御で操縦できる数ある「無人航空機」の中のひとつです。空撮用や薬散布などの産業用はもちろん、災害時に活用されることもあり、近年ますますドローンに注目が集まっています。

面白い映像や写真が取れることから趣味で飛ばす人も増えていますが、それは免許や資格がなくてもドローンを飛ばせるから。しかし、墜落などの事故やテロ、事件の危険性が想定されることもあり、法律や条例によってドローン操縦の条件が実はかなり制限されていて、飛行条件によっては免許が必要になるのです。

2022年12月5日から国家資格としてのドローン免許制度が導入されたことで、民間資格との2種類になりました。国家資格の「無人航空機操縦者技能証明書」は、国土交通省が指定する機関で取得できます。さらに国家資格のドローン免許は、「一等無人航空機操縦士」と「二等無人航空機操縦



▲購入したドローン。シイヤライズの新兵器に!?

士」に区分されています。一方で民間資格としてのドローンの資格は、さまざまなドローンスクールがそれぞれ独自で認定している資格になります。

一ではなぜ、免許や資格がなくても、誰でもドローンを飛行させることができるのに、わざわざお金と時間をかけ、面倒な試験を受けてまでして免許を取るのか?

それは、国土交通省の飛行許可・承認申請なしでは飛行できないエリアがたくさんあり、知識やスキルがないと知らず知らずのうちに法律違反や、事故を起こす危険性があるからです。違反した場合は、1年以下の懲役もしくは50万円以下の罰金ですから、市民から苦情を受けた警察が出動した場合は捕まってしまう可能性もあるのです。

ちなみに、新発田は市街地のほとんどが人口密集地のため許可申請が必須ですが、自衛隊駐屯地もあるので飛行禁止区域も存在し、ドローン

車庫から外水栓カバーまでいろいろ作ります / 12月 ラジアル折版使用 屋外設備カバーはいかが?

弊社敷地内に設置している軽自動車も入る大きさの自転車小屋はご存じですか?実はこれ、大きな工場や車庫の屋根に使用されるガルバニウム鋼板(GL鋼板)使用のラジアル折版製の基礎無し・支柱無しの設置簡単な囲い小屋なのです。

簡易設置可能な小屋の提案企画はずいぶん前から会長が温めていたのですが、金属価格の高騰等で進展できず、実用を兼ねた試作として敷地内設置するだけに留まっていた。しかし、小型のものなら値段的にも抑えられ汎用性もあるのではと考えたのが「エアコンの室外機カバー」「屋外設備のカバー」です。

実際に社屋のガスボンベやゴミ置き場、社員の自宅のエアコン室外機カバーとして設置してみました。ある程度の重みがあるので場合によっては置くだけでも良いのですが、L型アングルを取り付けてコンクリートブロックで重しをしたり、外壁にビス止めしたりすれば風対策もバッチリ

を飛ばすにはかなりハードルが高いのです。弊社は免許取得者が在籍し、しっかりと許可申請を受けるのでご安心ください。足場がなくては確認できない高さの建物の屋根や外壁を



▲左/GL鋼板製 屋外水栓カバー・右/ラジアル折版製 ゴミ置き場



▲ラジアル折版製 エアコン室外機カバー

です。GL鋼板製なので錆にも強く丈夫、カラーもそれなりに選べますので、お客様のアイデア次第でいろんな使い方ができると思います。

その他にもGL鋼板の平板で、消雪用地下水の汲み上げポンプのカバーや屋外水栓のカバーなどもお作り致しますので、「こんなのが欲しいな、作れるかな?」というものがあれば、ぜひご相談ください!

撮影するだけでなく、ドローンの可能性は他にもたくさんありそうです。本格的には春以降の始動になりますが、法令に則り実績を積み上げながら模索して参ります。

新しいコミュニケーションのすすめ 「やさしい日本語」ってご存じですか？

左/入社後に必ず実施している新人研修。業務に必要な言葉や道具の名前を覚えてもらいます。
右/安全のために必須のフルハーネス講習は、通訳さんを交えてしっかりと理解を深めながら行なっています。

当社のベトナム人実習生は今期過去最多の10人在籍していましたが、この半期で3人が実習期間満了等で帰国、3人が一時帰国、2人が入社と慌ただしく過ごしました。

今までは20代の独身青年ばかりでしたが、今回初めて30代の既婚者パパ2人を採用しました。仕事に対しての向き合い方が違う「一家の大黒柱」の姿が、日本の暮らしに慣れてしまった若い先輩たちにとっていい刺激になれば…と期待しています。

ベトナム人と仕事を始めて8年の当社には、実はベトナム語が話せる者は一人もいません。ふざけて使うことはあっても会話は全くできな

いのです。ベトナム語の発音は日本人にはとても難しい上、かつてフランス領だったせいなのか片言の英語もベトナム人には通じにくいのです。

そんな私たちがコミュニケーションをとる際に使っているのが、「やさしい日本語」です。学力レベルとしては小学校3年生程度で習う表現や漢字で構成し、一文を短く、文末表現は簡単に、且つやさしい語彙に言い換えることが基本です。一定のコツや考え方はありますが、わかりやすく伝えようとする心が一番のポイントです。

一とはいえ、いつもやさしい日本語でいいかと言えばそうでもなく、

病気に関することは正しく伝えなければなりません。生活環境の劇的な変化や

気候の違いによるストレスで胃を傷めたり、歯のトラブルなどで通院が続くこともありましたが、通院は必ず日本人社員が同行するなどのサポートは欠かせません。やさしい日本語で症状を聴き取り、医師に説明するのですが、薬の服用方法はまだしも診断説明に関してはやさしい日本語では実習生に伝わりません。

その際には実習生の受入機関である組合の協力で、医師や薬剤師の



言葉を通訳・翻訳していただいでしっかりと伝え、不安を抱えたままにしないよう努めています。

まだまだ浸透していない「やさしい日本語」というコミュニケーション方法ですが、皆様もこの機会に「外国人には英語で対応しないと!」という考え方を見直して、ぜひ「やさしい日本語」で話しかけてみてはいかがでしょうか? 思わぬ世界が広がるかもしれませんよ。

西簗口石動神社屋根改修工事／11月 瓦屋根を耐震性のあるGL鋼板で葺き替えました

新発田市西簗口地区にある石動神社の改修工事が12月に完了。当社はこちらの改修で屋根の葺き替えを担当させていただきました。

もともとは瓦葺きでしたが、古く傷んだ瓦を落として下地を直し、軽くて耐震性もあるカラーGL鋼板での工事となりました。

神社仏閣と言えば銅板葺きが頭に浮かびますが、現在の金属価格の高騰で銅板はなんとGL鋼板の2.5～3倍の価格(!)ですから、氏子さんたちの負担を考えるとなかなか難しい時代となりました。

寺社仏閣の屋根は曲線が美しい特殊な反り屋根で、一文字葺きという銅板と銅板の継ぎ目の位置に規則性(通常は上下の段で千鳥配置)を持たせた横葺きの中でも難しい工法の上、蓑甲(みのこう・みのこ・めのこ)と呼ばれる、屋根の妻側部分の破風上にできる特殊な形状をした曲線部分の



納めに熟練の技を必要とします。「やったことがあるというだけでも将来の強みになる。先輩職人の技を見られるこのような機会は決して多くはないので、若い社員達に経験として携わってもらいたかった。」と会長は振り返ります。

銅板と違いGL鋼板はとても硬く、塗装に傷がつきやすいので加工や施工にも非常に気をつかう案件ではありましたが、いぶし銀の色が渋く艶めく重厚な佇まいに仕上がりました。

近くにお立ち寄りの際は是非ご覧くださいませ。

電力の値上げに伴う提案として／6月 新潟日報/下越版にSLTが紹介されました

先号を発行して間もない6月1日、新潟日報さんの下越版にスカイライトチューブ(SLT)を取り上げていただきました。

これは、6月から実施された電気料金的大幅値上げのタイミングでの自然光利用の提案ともいえるものですが、近年のSDGsの流れもあり、とても良い紹介記事を載せていただきました。

そのおかげでお問い合わせも何件か頂き、設置に至った案件もございましたが、施主様が口々に仰るのは「こういうのを探してた!」「無理だと諦めていたけれど、やっと出会えた」「太陽光なんていうと変な業者も多そうだけど、新聞に掲載されてるんだから安心だね」という言葉です。

今回お問い合わせいただいた方々はいずれも65歳以上で、スマホもお持ちでインターネットももちろんご利用されてはいますが、やはり新



聞の影響力と信頼度はすごいんだなあと実感しました。

最近では広報に予算を割きづらい時代なので、当社もHPを中心にフェイスブックやインスタなどで発信することが多くなっていました。若い世代への情報発信はそれでもいいかもしれませんが、年齢層が高くなればそうはいきません。知ってもらうことも大切ですが、求めている人に届かなくては意味がありませんから。

新聞記事に取り上げていただいたことで、広報について改めて考えるきっかけを頂きました。

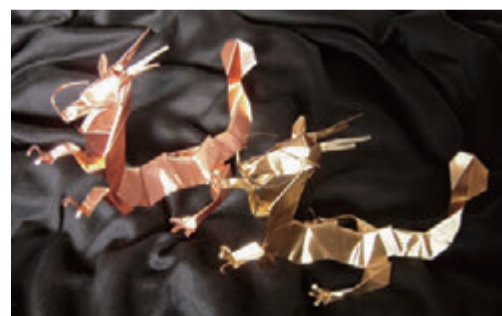
板金折り紙教室 新作の「干支の辰」好評! 「ペンギン」も人気です

板金折り紙教室を開催して6年目、参加者はリピーターさんを含め千五百人を超えました。中には20回以上通われる方もおられるので、そんな常連の方にも飽きられないように毎年新作を発表しています。

新作の定番はもちろん干支。来年の干支である辰を12月の教室で制作するために、夏頃から準備を始めました。当社の板金折り紙は紙の折り紙が基本なので、様々な辰や龍の折り紙を調べて適したものを探しますが、今回の辰は十二支の中で唯一の架空の動物で、「頭はラクダ、目は鬼、

角は鹿、首は蛇、腹はミズチに、鱗は魚、爪は鷹、脚は虎、耳は牛に似ている」という難敵。リアルすぎて板金向きでなかったり、変に略しすぎて蛇っぽかったりと、正に「帯に短し襷に長し」…。

—ということで、今回の辰はかなり早い段階でオリジナルデザインに決定! そうと決まれば、どんな辰にしたいかをイメージして開発に取り掛かります。辰(龍)らしい角も欲しいし、髭も欲しい。咆哮するような口元にもこだわりたいし、うねうねした体の動きや鋭い手足の指爪も表現したい…。それでも、難しすぎて参加者様に



作っていただければ意味がないので、改良を細々とくわえてゆきます。ここでは寅や丑を開発した時の経験が大いに活かされました。

たくさん悩みましたが、開発しながらわかったことは「自信をもってお勧めできること」こそが、大きなこだわりだったということ。これは仕事にも通じる事だなど改めて痛感しました。紆余曲折の結果出来上がった辰は、



左/今年の干支の辰の板金折り紙
右/親ペンギンと子ペンギン

製作時間が約3時間かかるのが難点ではあるものの、なかなかのリアルな仕上がりで好評です♪

また、辰に先立って発表したのが「ペンギン」。こちらは皇帝ペンギンをモデルに折り紙から起こしたものです。せっかくなので子ペンギンも作り、ペンギンらしい見た目になるよう片面のみ色付けした銅板もご用意して教室を開催しましたが、なかなかの人気です。こちらは意外に作りやすいので初心者の方にもお勧めですよ。